友愛
発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10
電話 大塚（941）2801
編集兼発行人　宮田　靖
定　価　1部　10円

第15回全国幹事会開かる

本年度の上半期の事業について反省を加え、下半期の事業を決定する第十五回幹事会は、十一月一日午前十時より会長邸離れにおいて開催された。

参加者は三十六名で、一番遠くから駆せ参じた三浦吉治君（北海道・登別）に拍手が寄せられた。

議長に倉塚善久君（東京・墨田）を選出、幹事長奥田吉郎君の挨拶

下半期事業計画を決定

日本友愛クラブの発足迫る

事務局長富田靖君の事務局報告に引き続いて、第一号議案「昭和三十九年度下半期事業計画について」、第二号議案「友愛基金の設定について」第四号議案「日本友愛クラブの設立について」第五号議案「第十二回全国大会について」の五議案を慎重審議をし、左記のように決定をみた。

第一号議案「昭和三十九年度下半期事業計画について」

一、友愛普及運動
（1）北陸地方巡回　十二月中旬福井県、富山県、石川県、茨城県、千葉県を主体とする
（3）組織拡大月間　一ヶ月間
昭和四十年三月一日～三十一日

二、社会教育関係事業
（1）友愛スケール教室
昭和四十年一月三日～五日
昭和四十年一月五日～七日
会場　磐梯友愛山荘
経費　会員二八〇〇円
（2）友愛スケート教室
昭和三十九年十二月三十一日～四十年一月三日
昭和四十年一月十五日～十七日
会場　軽井沢友愛山荘
経費　二七〇〇円
（3）旅の新生活運動
各種事業のたびごとに旅の新生活運動を行い、特に列を乱さない日本、紙くずのない日本にする。

三、講演会
友愛思想をはじめ青年運動、時事、経済、文化、社会等の講演会を必要に応じ実施する。
カルルギ伯とあって　木村　毅
十一月二十二日午後一時会長邸

四、社会福祉関係事業
（1）歳末助け合い運動
期間　十二月十五日～二十四日
運動　全国的に実施する
対象　各種養護、保護施設慰問
（2）災害助け合い運動
北海道の冷害対策に重点をおく

五、国際交流活動
（1）第三次友愛東南アジア使節団派遣
昭和四十年二月二十二日～三月二十二日
派遣国　マレイシア、タイ、カンボジヤ、南ベトナム、台湾、香港
人員　二十名本会会員及び関係者

（2）第二回政府青年海外派遣
すでに団員として決定している本会会員の壮行会、歓送迎を行う。
（3）日独青少年交歓事業
十月受け入れ協力（終了）
（4）日仏青少年交歓
十月受け入れ協力（終了）
（5）マーレシア女子留学生受け入れ
純真女子大学及び地元受け入れ側と折衝し準備に万全を期する
（6）オーストリア青年会議との提携
六、世界青少年キャンプ（協力成功裡に終了（十月号掲載）事後活動に積極的に協力する
七、出版活動
（1）友愛社会の建設―友愛運動十年史―の発刊
（2）カレルギー名誉会長の著書講演のあっせん

我妻栄顧問が文化勲章を受章

去る十一月三日（文化の日）本会顧問でありまた東京大学名誉教授である、我妻栄氏は、はえある文化勲章を拝受した。
このことは、われわれにとっても喜ばしいことでまた会員の励みとなり、誇りとなることであろう。

入会申込は支部または本部までハガキで御連絡下さい

東京都文京区音羽町七の十
友愛青年同志会

青少協で要望書発表

全国会議で青少年育成誓う

青少年の保護育成については昔頃多くの努力が重ねられ研究が進められているが、十二月十日、十一日都道府県青少年問題協議会および政令指定市青少年問題協議会との共催で、第十四回青少年問題協議会全国会議が開催された。この大会において佐藤栄作総理大臣が出席し、所信を表明すると同時に、各種の討議が成され、次のような大会宣言を採択すると共に関係各省庁等に対しての要望事項を決定した。

宣　言

われわれは、心身共に健全な青少年の育成を図るため、第十四回青少年問題協議会を開催した結果

一、健全な家庭づくりとよい社会環境を
二、勤労青少年の教育の振興と福祉の増進
三、青少年の非行防止
の目標を定め、関係行政機関、関係団体および国民が緊密に相ずさえて、この目標達成のためまい進するものとする。
以上、青少年問題協議会全国会議の名において宣言する。
昭和三十九年十二月十一日

要　望　書

一、青少年対策を強力かつ効果的に推進するため、総理府に青少年局を設置すること。
二、地方青少年問題協議会の運営費に対する国庫補助を増額すること。
三、青少年健全育成施設の画期的な整備拡充を図ること。
四、「青少年問題特別区」を継続し、指定地区数の増加と委託費の増額を図ること。
五、家庭教育学級、家庭児童相談室の予算の大幅な増額と保育所および幼稚園の画期的な増設を図ること。
六、勤労青少年ホームの増設を図るとともに、勤労意欲を高揚し教育訓練の機会を拡充すること。
七、農業後継者の確保と育成のため適切な施策を講ずること。
八、少年補導センターの国庫補助の対象の範囲を拡大し、必要な予算措置を講ずること。
九、青少年に好ましくない不良文化財を排除するとともに、優良文化財の普及を図る等青少年をめぐる社会環境の健全化に努めること。
十、非行少年の処遇、処遇に関する施設と職員の整備、充実を図ること。
昭和三十九年十二月十一日

管理者会議を開く

五友愛山荘を統一する

財団法人日本友愛青年協会（理事長＝鳩山薫）では友愛山荘の管理運営についての研修のため、従来よりおこなわれてきた「友愛山荘管理者会議」を一層充実するために、新に加えられた香川県高松友愛山荘を含めて五ヶ所の管理者を集め、次のように会議を開催した。

十一月十日正午より尾道友愛山荘に集合して三泊目のうち最後の一泊を香川県高松友愛山荘で研修することとして、本部より高野政利事務局長、軽井沢友愛山荘菅川忠光管理主事、磐梯友愛山荘吾妻宏管理主事、高松友愛山荘土井昭道磐梯山ユースホステルペアレント（塩谷弘子管理者代理）と現地の尾道友愛山荘高橋最宜管理主事の五名によって、尾道友愛山荘の問題を中心として会議がおこなわれた。

最初に高野事務局長より財団全般にわたる経過報告があり、特に資金面での好転が近いこと、登別友愛山荘の建設準備を進めていることなどの説明があった。続いて管理者より各友愛山荘の状況説明があって、尾道、軽井沢では六年の年月の経過により各所に保修と改造の必要に迫まられている点が問題となり、具体的に改修後の完成図を作成し、徐々に必要個所の工事を進めるよう申し合わせた。

第三の議題として準友愛山荘の管理、運営について次のような申し合せがあった。①毎月運営状況報告書を本部へ提出する②年間二万円位を本部納付する③友愛山荘管理者会議に出席し、統一した運営をはかる④実施は四十年四月よりとする。

その他この種会議の開催については、必ず他のホステルを見学または、ホステリングをおこない一層の見識を広める。あるいは海外ユースホステル運動の研究部門を設け、青少年運動のメッカとして友愛山荘の磨き方に作る等希望に満ちた意見を交換した。

高松では完備した施設の見学と交通機関に近いこと、または経由地としての条件が良いこと、観光地としても歴史的名所の多い所としても充分に利用価値のあること等を話し合い、第三回友愛山荘管理者会議を終了した。

日本投資

世界青少年キャンプの記録映画完成

東京オリンピック世界青少年キャンプ組織委員会では、去る十二月十六日午後五時三十分より総理府講堂において世界青少年キャンプ記録映画「世界の若人よ高らかにうたえ」の完成発表会をおこなった。

これは世界青少年キャンプ開催中に協力した青少年団体をはじめ各官庁関係者に対に特別披露したもので、上映時間は三十分で総天然色十六ミリフィルムの充実した内容に編集され好評であった。

愛山荘の磨き方に作る等希望に満ちた意見を交換した。

高松では完備した施設の見学と交通機関に近いこと、または経由地としての条件が良いこと、観光地としても歴史的名所の多い所としても充分に利用価値のあること等を話し合い、第三回友愛山荘管理者会議を終了した。

◆国際道義高揚友愛キャラバンの実施は、本会にとって初めての行事であったにも拘らず、福島県・長野県を起点として神戸までの長距離を、何の事故も問題も起こさず、それのみならず各地域に与えた影響には想像以上のものがあり本会参加者をはじめ各地で協力参加をしてくれた地域青年団、ボーイ・スカウト、婦人団体の人達から絶大な感謝を受けたのである。

◆また新潟地震に対しては、本会の地元支部をはじめ各地各支部は積極的な救援活動を展開し、特に新潟県の安田支部は新潟県知事から、その救援活動の顕著であることを認められて表彰を受けるというほどの活躍であった。まことに快哉を叫びたくなる活躍振りといえよう。

◆十大ニュースにのらない本会の活動も見逃すことはできない。夏期に集中して開催された友愛移動文化映画班としても、本会の恒例事業として毎年実施しているものであるが、ためにも十大ニュースとはならなかったが、この移動映画班の巡回のように地味な中にも貴重な意義を有する本会の行事は枚挙にいとまのないものがある。忘れてはなるまい。

◆このように本会の事業を通して一年間を省みる時、組織の強さと、その価値に改めて驚嘆をせずにはおれない。新年も、全国会員の諸兄姉とともに組織拡大、発展に邁進することを誓い合いたい。

直　言

◆一九六四年を過ぎるに際して、この一年間を振り返ってみると実に想い出の多いことに気がつくのである。すなわち本紙第三面掲載の十大ニュースを見ても解る通り、その内容は各内面に影響力をもつ多彩なものであり、しかもそれは一青年団体が実施した事業としてはとても考えられぬ程の効果を挙げているからである。

◆主なものをピックアップしてみるならば、関係・友好諸団体とともに実施をした世界青少年キャンプは、本紙前号に掲載の通り「国際的な青少年運動史に大きな実績として残る成果をみせたのである。この事業実施に当って本会の果した役割りは今更言を待たないところで改めて記すことは避けよう。

◆国際道義高揚友愛キャラバンの実施は、本会にとって初めての行事であったにも拘らず、福島県・長野県を起点として神戸までの長距離を、何の事故も問題も起こさず、それのみならず各地域に与えた影響には想像以上のものがあり本会参加者をはじめ各地で協力参加をしてくれた地域青年団、ボーイ・スカウト、婦人団体の人達から絶大な感謝を受けたのである。

◆また新潟地震に対しては、本会の地元支部をはじめ各地各支部は積極的な救援活動を展開し、特に新潟県の安田支部は新潟県知事から、その救援活動の顕著であることを認められて表彰を受けるというほどの活躍であった。まことに快哉を叫びたくなる活躍振りといえよう。

友愛基金募集

一、名称　友愛基金
二、趣旨　会員を中心として各界より広く友愛基金を募り、"友愛奨学資金"等の文化事業実施のための基金とする。
三、期間　昭和四十年四月一日～昭和四十一年三月三十一日
四、募集　本会々員および本会関係者を対象とする。
五、募集金額　一口壱千円（月額一年間壱萬弐千円）
六、申し込み先
友愛青年同志会友愛基金係＝東京都文京区音羽町七の十
電話（九四一）二八〇一番
振替口座東京四六五八九番
七、申し込み方法　所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上申し込むものとする。

論壇

青少年センターを青少年の手に

アジアで初めての東京オリンピックは、輝やかしき数々の成果を納めてその幕を閉じた。

東京オリンピックにあらわれた日本人の組織力は、海外の人々を驚かし、日本人ずからの自信を高めた。

また、世界二四ヵ国の二〇〇人を集めた世界青少年キャンプの青少年にあたえた影響は、これまたはかり知れないものがある。

今後も東京オリンピックの意義を深く継承して青少年活動に活かしてゆく必要がある。ところが幸いなことにオリンピック選手村跡の鉄筋一五棟を、オリンピックを記念して青少年センターとして残そうとの意向が高い。これこそ物心ともに青少年に対するオリンピックの最大の贈り物として青少年運動に活用すべであろう。

青少年センターについていろいろの意見が交錯しているようだが直に青少年団体としての意向を表明したい。

一、一括して青少年センターに務員住宅案、大蔵省の税務職員所案、青少年センター案等、一〇種類に近い計画が競合しているようである。

オリンピックが若人の祭典であり、そった建物、施設であって、環境の整備をはからないと、青少年に小さな鉄筋一五棟については、建設省の公の教育的効果はあがらない。

二、総理府と文部省との共管とせよ

青少年センターについて、総理府の中央青少年問題協議会と、文部省の体育局体育課とが競合している。

所管については競わないというのが最初の原則であったが、青少年団体と直接のつながりの薄い体育課の格を考えて、総理府と共管にするのが現状では理想的な形態であると思う。

この際政治的な妥協などで、大蔵省に何棟、建設省に何棟などコマギレは絶対に排すべきである。同一の目的に

三、土地を広く施設を完備せよ

選手村の跡は、森林公園に内定していて、青少年センターの現在の所数は二万余坪ときく、国立中央青年の家の経験からみて、青少年の施設としては最低五万坪ないと、十分な青少年活動の展開できない。最初に土地を広くとるべきである。

また施設も初年度から全ての建設は無理だとしても、講堂、体育館等総合センターとしての想模のもとに総合計画をたてるべきである。

四、運営委員会を充実せよ。

青少年センターの運営については、研修、合宿、国際交流、講演会等多彩な運営が考えられるが、運営の方針、運営の方法について、じっくり検討をすべきである。特に青少年団体の現役の指導者を運営委員に加えて、スポーツのみにかたよるようなことがあってはならない。

大東京の中心にあって、あれだけの宿泊施設もち、しかも静寂な環境に青少年活動をすすめべきたい。以上の主張を実現し、青少年の綜合センターとしての役割を果たして貰いたい。

五、若人の森を建設しよう

新生活運動協会を中心として、青少年団体があい集い、若人の森を建設しようとの運動が始まっている。

若人の森の建設場所は、青少年センターが予定されているオリンピック選手村跡の森林公園の一部である。

この若人の森の建設と、青少年センターを全く切り離して考えることなくこの両者の実現のために、青少年自身の奉仕と努力をつみかさねながら、青少年活動をすすめべきたい。以上の主張を実現し、青少年の綜合センターとしての役割を果たして貰いたい。

オリンピックを機会に日本の青少年の向上はかるとの意味で、オリンピック配念に最もふさわしい青少年センターにすべきである。

オリンピックを記念して青少年活動に活用すべであろう。

意見が交錯しているようだが直に青少年団体としての意向を表明したい。

高めた。

また、世界二四ヵ国の二〇〇人を集めた世界青少年キャンプの青少年にあたえた影響は、これまたはかり知れないものがある。

今後も東京オリンピックの意義を深く継承して青少年活動に活かしてゆく必要がある。ところが幸いなことにオリンピック選手村跡の鉄筋一五棟を、オリンピックを記念して青少年センター

友愛婦人会

友愛バザーを開く

歳末助け合いのために

【写真は賞物をする鳩山会長】

友愛婦人会（会長＝鳩山頗本会長）では去る十一月十八日から十九日まで二日間、文京区役所別館において第二回友愛バザーを開催した。

これは友愛婦人会が毎年歳末実施する才末助け合い運動の資金づくりを図るとともに、会員及び会関係者に物品購入の便宜を増進して開催されているものである。

バザー当日は、開場一時間前から入口の前に行列が出来、その時間には準備が完全に整わない会当局では嬉しいあわて方をする一幕もあった。開場と同時に、入口に用意された三角クジの前は黒山の人かとり、一等賞品のテーブル、磨帯子セットを目指してまず一番闘の腕をふるい、次に続到した所は、各会員から提供された品物が展示販売されている売場であった。この売場の品物は、第一日目の分として用意された品物は中前中に全部売り切れ第二日の分を合わせても初日にほとんど売れるという程の盛況であった。またこの他にこのバザーの趣旨に賛同して出品をした二十三業者の売り場もそれぞれに相当の売れ行きをみせ、各業者から売り上げの一割が友愛婦人会に歳末助け合い運動の資金として寄附された。

第一日目の午後、鳩山会長も会場に姿をみせ、全部の売り場を見て回りスタッフ、業者の労をねぎらい、更に一自分で洋菓をお買いになっていた。

二日間にわたって開かれたこのバザーで、友愛婦人会は約三十万円の実収入を挙げ、歳末助け合い運動のために使用される基金となった。またこの基金の中から、バザー期間中積極的に大スタッフを動員して協力に当った本会関東学生部に二万円の寄付があり同学生部はこれをやはり歳末助け合い運動の活動費に組み入れ保護施設の子

名誉会長の印象

木村毅先生を囲んで

写真は元気にカレルギー名誉会長の話を続ける木村先生

本会顧問で社会評論家の木村毅先生は今秋カレルギー伯の招きにより渡欧、二日間に渡って懇談され、その会見記を朝日ジャーナルで発表されたが、本会においても講演を依頼し、十一月二十二日午後一後より会長邸離れにおいて開催した。先年奥田吉郎幹事長とは木村毅先生を紹介、特に本会との関係について説明し講演にはいった。

木村先生は七十歳ともみえぬ元気はつらつとしたD調でカレルギー伯がそばにでもいるような雰囲気で、会場一杯に集った五十人余の会員を感激させた。要旨は左の通り

「カレルギー伯に会って」

最初ザルツブルグ（オーストリア）に訪ねたが、奥さんの療養のためゼースバーデン（西ドイツ）に出かけていたのでそこまでおもむいたところ大歓迎をしてくれ、ぶどう酒で乾杯をしながら夜おそくまで話し、翌日もまた話したが飽きることがなかった。

力伯は、ヨーロッパ統合のため全力を傾けており、会見もエハルト独首相より面話があり、ドゴール仏大統領ともしばしば会って意見の交換をしているそうである。ドゴールを極めて高く評価しているので友愛でもドゴール研究をすると面白いのではないか。

友愛については、自分の思想が鳩山先生を通じて日本に伸びたことについて非常な喜びをもっており是非英文による活動の歴史を欲しいとの要望があった。

またイギリスにおいても二の運動がおこるよう熱心な女性がいるので近く話すそうである。

北陸四県を組織巡回

着々と結成準備進める

北陸地方組織普及は昭和三十九年度組織活動方針のなかで特に重要視されていたが、本部では十月三十日より十二日間尾形書記長常任幹事（組織部長）を派遣した。

尾形組織部長は十一月三十日＝金沢市、十二月一日＝河北郡内灘町、七尾市、二日＝鳳至郡穴町鳳至郡門前町、三日＝輪島市、四日＝鳳至郡柳田村、五日＝鳳至郡能都町、六日＝珠洲市、七日＝珠洲郡内浦町、八日＝富山市、九日＝新潟県見付市、十日＝新潟県上市、十一日＝新潟市の日程で巡廻した。

それぞれの市町村において社会教育並びに青少年関係者と懇談するとともに青年とは座談会を通じ友愛思想、友愛青年同志会の活動等を話し合った。

この懇談会、座談会を通じ各地の青年並びに関係者は友愛青年同志会に強い関心を示した。

石川県では地元責任者の熱心な努力により充実した会合を持つことができ近く具体的な動きが展開され支部結成と発展するものと期待されている。

一方新潟県下ではかねてより懸案となっていた村上支部の結成、新潟県支部連合会の結成が尾形組織部長の巡廻を機に進展をみ、村上支部は十二月十日に結成され、新潟県連は本年度中に具体化されることになった。

本会全国組織の中で組織化が比較的おくれていた北陸地方に対する今回の友愛普及は本会が名実共に全国組織として発展しつつある現状からみて意義深いものがあり その成果に大きな期待が寄せられている。

鹿児島にも学生部

学生の全国組織に今一歩

【鹿児島発】かねてから鹿児島学生部の結成に努力をしていた坂上誠一君（鹿児島商科大学）と本会鹿児島支部長の岩崎充君は、県内各大学生たへの呼びかけ基礎的作業を終え、鹿児島学生部結成の機運を盛り上げることに成功したそこで去る十一月二十二日鹿児島市内の温泉旅館に県下の学生と、本部から事務局長の宮田靖君、関東学生部副委員長の秋田昌晴君（幹事）が出席をする中で鹿児島学生部の結成大会を開催した。

結成大会は、規約審議、運動方針、事業計画の審議と順調に進められた後、宮田靖事務局長、秋田昌晴関東学生部副委員長、岩崎充鹿児島支部長の三名選んでの懇談会に入り、主として宮田事務局長から友愛思想および本会歴史についての説明を受けその内容を中心として話が進められた。

なお同学生部の委員長には坂上誠一君が選出され、事務局は後記の通りとなった。

坂上誠一委員長談＝第三回友愛全国学生会議に参加をして、友愛運動における学生の責務とその重要性を身をもって知ることが出来、鹿児島に帰って早速学生部結成の準備に入ったわけですが、幸いに各大学の学生に極めて容易に受け入れられる思想・精神であることから以外に早く結成大会に持ち込むことが出来ました。

今後は地元の鹿児島支部をはじめ関東学生部を中心とする他の学生部と密接な連絡提携を保ちながら張り切って友愛運動に邁進をしたいものと決意を固めておりますので、全国の諸先輩の御指導をお願い申し上げます。

（鹿児島学生部事務局）

鹿児島市平之町一九 岩崎方

オン・カーセン氏本会の招きで来日

去る十二月二十九日午後五時四十分羽田着の日本航空機でマレイシアのオン・カーセン氏が来日した。羽田空港には宮田靖事務局長はじめ五人の会員が同氏を出迎えた。オン氏は一月一日午前七時半に離日するまでの間、本会の鳩山顧会長はじめ各方面の要人と本会で準備したスケジュールに従って面談し日本・マレイシアの親善の役を果たして帰国した。

オン氏はマレイシア青年連盟会理事長兼会の会長として、アメリカの大統領選挙を視察しての帰りに本会に立ち寄ったのである。

資金の半分をお立て替え
三井銀行
住宅預金

楽しいお買物は
池袋駅の丸物へ
池袋駅 丸物
電・(982)2111

大東京海上火災

楽しいお買物は
UENO
GINZA
上野 銀座
松坂屋

いちばん新しいデパートで
いちばんステキな生活を
Odakyu
しんじゅく
小田急
木曜定休 ● 電話(362)1111大代表

楽しいくらしのショッピング
渋谷 池袋 東横

しあわせの夢を育てる
みんなの東武
東武
池袋駅西口
TEL 981・2211

昭和39年度10大ニュース決まる

昭和三十九年度が終る時、我々にとって、意義深い思い出と大成功だった各種事業の成果を再認識して、これからの友愛運動の推進力とするよう、別記の通り本会の十大ニュースを決定した。

第一位 東京オリンピック世界青少年キャンプ開設される。（十月）

世紀の祭典東京オリンピックの際に、本会が推進してきた青少年による国際親善とわが国の紹介をかねて世界青少年キャンプが開設され、世界二十四ヵ国二千人が参加、世界は一つ世界は平等の文字通り親善のキャンプとなった。【写真1】

第二位 平和の灯ともる（八月）

この地球上から核兵器が絶滅するまで、赫々と燃え続けるという、国民の悲願をこめた平和の灯が広島公園に核禁会議（本会参加）の手で建設された。【写真2】

第三位 友愛キャラバン隊全国をゆく（七月八月）

オリンピックを契機として国際道義高揚友愛キャラバン隊は、福島から大阪まで行進、国際道義の高揚を呼びかけ各地の清掃奉仕に活躍をした。【写真3】

第四位 カレルギー全集発刊

友愛思想の提唱者カレルギー伯の全集が鹿島研究所から発刊され、カレルギー研究のよき資料になるとともに広く世にその思想が伝えられることになった。

第五位 鳩山先生夫妻の銅像建立される。（十月）

鳩山先生夫妻を慕う文京区の有志が中心になって、ゆかりの地護国寺に銅像が建立された。

ありし日の鳩山一郎先生がステキをもって立ち、夫人が側につきそっている。【写真4】

第六位 第三次友愛東南アジア使節団各地で親善交流を果す。（三月）

第三次の東南アジア親善団は、高野政利団長のもと、カンボジヤ、タイ、マレイシヤ、ホンコン、フイリッピンの各地で青年団体と親善の役割を果たして帰国。【写真5】

第七位 新潟地震の救援活動（七月）

一瞬にして新潟をおそった地震は甚大な被害をあたえ市民を窮乏におとしいれた。本会も全国的に救援活動を展開したが中でも地元安田支部の活躍は目覚しかった。【写真6】

第八位 訪日ドイツ青少年各地で歓迎（十月）

世界青少年キャンプの参加をかねて日独青少年交歓事業によるドイツ青少年一七五名が来日、本会は蓮沢・上野・東京の各地で受け入れ歓迎をおこなった。【写真7】

第九位 全国学生会議北海道で開く（七月）

全国組織を目指し開進著しい学生部では、全国学生会議を遠く北海道奥駒で開催した。

地元の歓迎にたいし、のちにおこった北海道冷害の際に救援金をおくって感謝をあらわした。【写真8】

第十位 宮田事務局長就任

本会も発足以来十一年、新しく若い層が会の中心勢力となり、その代表として宮田事務局長が実現。

学習活動を活発に

【大阪発】関西学連部（委員長＝松村進君）では、十二月十五日（日）午後二時から五時半迄、箕面市青少年センターで、講師に宮田靖事務局長を迎、参加者二十二名をもって、講演会を開催した。

宮田靖事務局長からは、「友愛思想について」の講演が約三十分おこなわれた。内容は、「クーデンホーフ、カレギー回想録」に沿って、カレルギーの思想を道徳の道徳観から、パンヨーロッパの建成に致るまでの過程が話された。

引き続き講演をもとにして、座談会を約一時間半行った。ここでの討論は、カレルギーの思想、友愛の基本活動、関西学生部の組織の問題等が中心テーマになった。

そのあと坂巻幸京部支部長のスライド映画を約四〇分映写し、その中では、主に東南アジアのスライドが中心となったが、坂巻幸京部支部長の見てきた他の国々の話をおりまぜながら懇談を行い、五時十分プログラムの全てを終了し講演会を終った。

新役員を選任する

【桑名発】桑名支部（支部長＝水谷弘君）では去る九月十二日午後七時より桑名市職員会館に於て、定期大会が開催された。出席者は約二十名であり、来賓として山川昇三重県連会長、川崎茂・本部副会長の秘書出俊二氏が参加された。

当日議題として

一、十月四日湯の山において野外のつどい。

一、十月十二日伊賀上野市における日独青少年交歓参加。

一、月例会を毎月第六日午後八時から開催。

一、会費年間六百円を年払、半期払の二本立制。

一、会員倍加運動。

一、九月二十日名古屋支部結成大会に県連からの参加

以上の六件が上程され、万場一致で可決された。

次いで役員改選に移り新役員が次の人事に依り決定した。

支部長	中村万寿夫
事務局長	水谷　弘
会計	熊沢　寿一
幹事	岡本　[illegible]
〃	矢野慶太郎
〃	長谷川　孝
〃	伊藤　幹夫
〃	柴山喜久雄

十條製紙
取締役社長 金子佐一郎
本社・東京都中央区銀座東3丁目4番地
工場 木倉本 伏小坂 條島代路 十都八鍋

各地で歳末助け合い運動を実施

歳末募金の文化祭開く

国際色豊かに努力が実る

関東学生部（委員長＝添野元晴君）では、十月二十五日（日）十二時半から拓殖大学内若葉祭ホールで、約二百名の参加をえて友愛文化祭を開催した。

友愛文化祭は、今回が二度目の試みで、計画はすべて関東学生部執行部の手によって作られた。

当日、オリンピック世界青少年キャンプの閉会式を終了してかけつけた宮田靖書務局長はドイツ、スウェーデン、インドの代表とともに会場に到着し、秋田県晴君の紹介で挨拶をおこない各国の青年代表からもあいさつがあり、国際色豊かな花祭となった。

当日のプログラムは、学生部会員の他、友情出演や本部マジシャンクラブなど多彩な出演があり、変化に富んだものとなった。今プログラム終了お土産の抽選をおこなった。賞品は、日本友愛青年協会会長清水幸雄部連事務局長から寄付があった。抽選は、和気合々となった。

関東学生部（委員長＝添野元晴君）では、十月二十五日（日）十二時半から拓殖大学内若葉祭ホールで、約二百名の参加をえて友愛文化祭を開催した。

友愛文化祭は、今回が二度目の試みで、計画はすべて関東学生部執行部の手によって作られた。

当日、オリンピック世界青少年キャンプの閉会式を終了してかけつけた宮田靖書務局長はドイツ、スウェーデン、インドの代表とともに会場に到着し、秋田県晴君の紹介で挨拶をおこない各国の青年代表からもあいさつがあり、国際色豊かな花祭となった。

当日のプログラムは、学生部会員の他、友情出演や本部マジシャンクラブなど多彩な出演があり、変化に富んだものとなった。今プログラム終了お土産の抽選をおこなった。賞品は、日本友愛青年協会会長清水幸雄部連事務局長から寄付があった。抽選は、和気合々となった。

した緊張の中で行なわれた。この友愛文化祭に関東学生部が本部の国際交流活動の一つである外国青少年との国際親善が出来たこと、学生が主体となり計画に積極的に進めたことは、大きな成果であった。

これからも、今回の経験を基礎にして、友愛青年同志会関東学生部のみにとどまることなく、広義の意味で、全国学生部主催事業を向上的かつ発展的に、関東学生部では、全国学生部に働きかけるとともに、頑張ってゆきたいと意気盛んであった。

なお、文化祭であがった収益金は、毎年関東学生部が、歳末助け合い運動の一環としておこなっている孤児招待多摩自然動物園へバス・ハイクにあてる予定である。

募金パーティー開く

登別支部の冷害救済活動

【登別発】登別支部（支部長＝三浦吉治君）では去る十二月五日、登別国際観光会館で歳末助け合い基金募集ダンスパーティを開催した。

過日、会員がダンス講習会を行っていたので多数の会員と一般市民の参加もあった。青年の行っているダンスパーティとしては健全であるとの評を受けると同時に、一般市民と会員との交流を深める事が出来た。

このパーティの開催基金は一万七千九百八十一円であり、そのうち二万円を地元の社会福祉協議会へ、残り七千九百八十一円を北海道新聞を通して、冷害救済へ寄附し、友愛活動と社会福祉活動とを結び付ける事に多きな意義があった。

関東学生部が募金

本部・都連からも応援

去る十二月二十三日より一週間、関東学生部（委員長＝添野元晴君）では、北海道冷害救済募金を育英町、日本劇場前で行った。

参加者は、委員長添野元晴君を初め学生部会員約十名、都連からは中野子さん、本部からは、奥田吉郎幹事長、宮田靖書務局長、尾形智子組織部長も加わり、連日約二時間半、街ゆく都民の人達に、北海道冷害の実情を訴え募金を行った。募金に際し、丸の内警察署、千代田区役所等の協力に依り、七万一千円募金することが出来た。

七万一千円を早速北海道出身の山崎宏君に委託し、北海道上川郡美瑛町に寄附をした。これによって寒におこなわれた第三回友愛国学生会議に町長始め町をあげての全面協力にさきやかな感謝の気持をあらわすことができた。

早速、美瑛町々長より感謝状が届けられ、学生部会員は、今後共福祉活動を積極的に取りあげ、実践してゆくことを決定した。

二十万円を街頭募金

成果をあげた冷害救援活動

写真は日劇前で募金する関東学生部

写真(上)は登別支部の募金パーティー(下)は伊賀上野支部会員が駅三等で記念撮影をする

【大阪発】関西学生部（委員長＝松村進君）では、北海道冷害救援募金を十一月二十六日（木）より十一月二十九日（日）までの四日間、国鉄大阪駅東口路上で、参加者三十四名をもって行った。

募金総額は、二十万千参百九円で、その金を朝日新聞大阪本社に寄託して、北海道の冷害地の人々に送った。

参加者は、皆初めての経験であったので最初は恥かしさの為に大声で呼びかけられなかったが、募金者からの励ましの言葉に元気づけられ四日間頑張った。募金総額は予想以上で、皆多くの勉強をすることができた。

瀬戸内海へ研修に

尾道友愛山荘で支部交換

【伊賀上野発】伊賀上野支部（支部長＝加藤和矢君）では十一月二十一日～二十四日まで二泊三日の日程で四十名の参加者の下に、尾道方面へ研修旅行に出発した。

途中、耕三寺、後楽園、姫路城等の各地の名所に立ち寄りながら社会見聞をするとともに、二十三日夜は尾道友愛山荘で地元尾道支部の会員と交歓会を行ない、お互に支部活動の現状および今後の問題点について懇談をした。話あいのなかでは広く友愛活動を進めることで意見が一致した。

青年団体の交流はかる

【登別発】去る十二月十三日午前十時より登別市役所職員会館において「隣接市町村青年団体交流会」が開催された。

参加団体としては、室蘭市、苫小牧市、登別町、伊達町、白老町の各青年団体が参加し、青年団体運動のあり方や今後の方向などについて真剣な討論が行なわれた。

登別支部からは、三浦文部長、山本幹事長、砂川事務局長、宮崎組織部長が参加し、積極的かつ建設的な意見を発表した。

記念行事に新しい企画

【室蘭発】去る十月十一日（日）午後一時半から五時半までの三時間、関西学生部（委員長＝松村進君）では、箕面母子寮慰問を、参加者七名（内女子四名）をもっておこなった。

内容は、会員が金を出しあって買ったお菓子のプレゼントとそのお菓子を食べながら楽しく子供達と一緒にゲームをおこなった。

参加者は、子供達と一緒にゲームを通じて遊んでみて、本当に来てよかったという感じを持った。

夕方、別れる時、来年もまたきっと来ると一緒に楽しく遊んだ子供達に約束をして、参加者一同は楽しい思いを胸にひめ、別れを告げた。

歩け運動を実施する

【大阪発】関西学生部（委員長＝松村進君）では去る十月二十五日（日）午前九時半阪急十三駅に集合し、参加者二十一名（内非会員三名を含む）、参加費、三十円で目的地、甲陽園へ出かけた。

阪川駅から目的地甲陽園迄の一時間半の道のりを歩き、目的地で会員間の親睦をはかった。

帰りの甲陽園から香櫨園海岸迄の道のりを再び歩き、更に会員間の親睦を増すことが出来た。

天候もよく、ハイキングには最適の日だったことも成功の一因になった。

岐阜県連で研修会

充実した講演内容で

【岐阜発】第二回岐阜県友愛連合会の研修会は、十一月十四日十五日の二日間、岐阜県立青年の家「こがね荘」＝岐阜市長良県立綜合グランドで開催された。

参加者は三十二名他に九月に結成されたばかりの名古屋支部から、佐藤満親支部長以下六名の参加をみた。研修会は、県連の鈴木昌和幹事長代行久吉事務局長を中心にすすめられた。

二日間の主な内容は次の通りであるが、多大な成果をあげて、終了した。

挨拶　県連会長梶本英夫君
講演　「国際情勢の展望」
読売岐阜支局長　土屋孝氏
「友愛運動について」
本部幹事長　奥田吉郎氏
討論会　懇親会、レクリエーションその他

サークル活動も多彩

母子寮を慰問する

【岐阜発】去る十一月八日（日）午前九時より岐阜支部（支部長＝永田良稔君）では岐阜市外にある三田洞において"紅葉　ハイキング"を楽しんだ。

参加者は十五人程だったが、これは今月度の行事が沢山あるためにそれぞれ分散したためで、会費百五十円の安価ではあったが、内容は天候に恵まれたことに、個々の心遣を披露するなど多彩を極め、一同健康と親睦に充分な楽しさを味った。

同月十一日（水）午後六時三十分より中日ホールにおいて、岐阜支部主催、第十回レコードコンサートをおこなった。この催も今回で十回目を迎え記念企画として、クイズ曲をおこなった。会場は新しい企画で雰囲気も記念ムードも盛りあがった。

なお、協賛として、ドーナツクラブ、松栄堂菓舗店であり、解説として、杉山秀雄氏が当った。

中央日誌

11/1 於離れ 全国幹事会　前十時
2 於核禁本部 核禁事務局会議　後一時
於核禁幹事会　後三時　於明産ビル
5 財団二十一回小理事会 後六時　於本部
6 都市青年グループリーダー養成研修会　於国立中央青年の家
7 友愛婦人会役員会　後一時　於離れ
早朝墓参会　前六時半　於谷中
8 都市青年グループリーダー養成研修会
世界青少年キャンプ座談会　前十時半　於離れ
9 都市青年グループリーダー養成研修会
世界青少年キャンプを省みる会　後五時半　於りゆめ会
10 第二回友愛山荘管理者会議　於尾道
11 友愛マヂッククラブ中青連役員会　後一時半　於青葉
選挙法改正運動協議会役員会　後五時半　於開協役員室
13 友愛婦人会役員会　正午　於離れ
都連常任幹事会　後六時半　於本部
奥田幹事長岐阜へ出発　前六時半
14 岐阜県連研修会　於市内ごいま荘　十五日まで
15 都連お茶会
友愛レコードコンサート　前九時　於上野文化会館
関西学生部講演会　後二～五時　於賓面青少年センター
16 キャンプ編集会議　正午～二時　於キャンプ事務局
17 中共核実験抗議集会準備会　後三時　於核本部
核禁運動基調懇談会　五時　於核禁本部
日本青年奉仕隊推進協議会　後二時
世界連邦東京青年協議会準備会　後六時　於朝小
会館八階
18 第十三回全国青年大会　後一時　於国立競技場
19 友愛バザー
20 世界連邦第二回中央委員会並びに大会運営委員会　後六時　於参議院第三会議室
中共核実験抗議集会準備会　後二時　於共済会館
21 日本青年ユネスコ会員大会　於国立中央青年の家
22 教育会館教養講座　後二時　於教育会館
マヂッククラブ木村殺講演会　後一時

総理府講堂
都市青年グループリーダー養成研修会
23 尾形組織部長長崎へ出発
関東学生部総会助け合い運動
24 第一〇七回中青連委員会　後一時半　於YMCA
オリンピック国民運動推進連絡会議　時十一時　於文部省第一会議室
26 世界連邦東京青年協議会結成準備会　後六時　於参議院会館
27 常任幹事会　後六時半　於本部
三田村武夫先生通夜
28 教育会館教育講座　後二時　於教育会館
ハイ・スクール・ミーティング　後二～四時　於本部会議室
三田村武夫先生告別式
北野高校校内弁論大会　後一時
29 世界連邦は宵協第四回定期大会　前十時　於参議院会館
鹿児島学生部結成大会
30 友愛婦人会役員会　前十一時　於東京都新婦人会館
尾形　常幹北陸組織　普及（石川県十ヵ所、新潟県三ヵ所）
12/1 世界青少年キャンプ小委員会　後一時　於日本青年館
2 青年奉仕隊委員会　後二時　於参議院会館会議室
3 友の会和歌の集い　前十時　於はなれ
4 都連常任幹事会年会　後六時半　於あづま二階
7 早朝墓参会　前六時半　於谷中
友愛婦人会　前十時　於はなれ
8 日独青少年交歓実行委員会小委員会　後一時　於
衆議院第一議員会館
中青協改革懇談会　前十時　於中青協
青年奉仕隊　正午　於砂防会館地下グリル
全国青少年問題協議会　前十時　於総理府
10 於はなれ
生長の家三十五周年記念大会　後一時半　於日大講堂
23 尾形組織部長長崎へ出発
関東学生部総家助け合い運動
24 第一〇七回中青連委員会　後一時半　於YMCA
26 於文部省第一会議室
世界連邦東京青年協議会
27 参議院会館　後六時　於
28 ハイ・スクール・ミーティング　後二～四時　於本部会議室
29 世界連邦は宵協第四回定期大会　前十時　於参議院会館
30 一時　於東京都新婦人会館
尾形　常幹北陸組織　普及（石川県十ヵ所、新潟県三ヵ所）
友愛婦人会役員会　前十